

未上場 & 上場の境界を越える新しい投資信託

「ひふみクロスオーバーpro」新規設定のお知らせ

2024年8月9日

SBIレオスひふみ株式会社

レオス・キャピタルワークス株式会社

SBIレオスひふみ株式会社の傘下で投資信託「ひふみ」シリーズを運用するレオス・キャピタルワークス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：藤野 英人、以下「当社」）は、主に成長が期待できる国内外の未上場株式と上場株式を投資対象とするアクティブ運用の公募投資信託「ひふみクロスオーバーpro」を新規設定いたします。「ひふみクロスオーバーpro」は未上場株式と上場株式の境界を越えた投資を意味するクロスオーバー投資を実現することで、日本のスタートアップ企業が上場後に伸び悩む“死の谷”の解消を目指します。本投資信託を通じて、個人では難しい未上場企業への投資が可能となります。また、NISA 成長投資枠の要件を満たすファンドとなります。

本日8月9日、有価証券届出書を関東財務局長に提出いたしました。2024年8月26日より直接販売の当初募集を、間接販売は販売パートナー（※）を通じて当初募集を開始いたします。設定・運用開始は2024年9月12日を予定しております。



境界を越えて、
もっと、ずっとエールを。
さあ、解き放て、未来へ。

■新しい投資信託でクロスオーバー投資を実現します■

政府の「新しい資本主義実行計画」により、スタートアップ育成に向けた資金調達環境の整備する動きが高まり、投資信託協会が2024年2月15日に、自主規制ルールを変更、公募投資信託に純資産総額の15%を上限に未上場株を組み入れる事が可能となりました。これまで未上場株に投資できるのは、創業者や関係者、ベンチャーキャピタル、金融機関といった一部のプロ投資家に限られてきましたが、今回の変更により、プロ投資家以外の投資家にも未上場株への投資機会が広がることになりました。当社はこれを受け、未上場株式と上場株式を実質的な投資対象とする「ひふみクロスオーバーpro」を新規設定いたします。

未上場企業への投資は、当社の兄弟会社でベンチャーキャピタル業務を行うレオス・キャピタルパートナーズが

本投資信託のために新たに設立した「ひふみスタートアップ投資事業有限責任組合」を通じて本投資信託の投資方針に基づいて行ないます。本投資信託では、投資する未上場企業が上場した後も投資を継続し、上場・未上場の境界を越えて未来を牽引する日本企業への投資を行ないます。

当社が今まで培ってきた上場企業への目利き力に加えて、エンジェル投資家として約 30 件を超える投資経験を持つ代表藤野やレオス・キャピタルパートナーズの力を結集し、運用していきます。

当ファンドは当社の新たなファンドシリーズ「pro」シリーズの第 2 弾のファンドとなります。既存の「ひふみ」シリーズを「basic」と位置づけ、その共通点を共有しつつ、さらに投資の魅力やワクワクを体感したい方向けのファンドシリーズを「pro」と名付けました。

※：当初募集における販売パートナーは 株式会社 SBI 証券、岡三証券株式会社、株式会社千葉興業銀行、広島信用金庫、マネックス証券株式会社、楽天証券株式会社 の 6 社となります（8 月 9 日時点）。

■クロスオーバー投資を表現したキービジュアル■

クロスオーバー投資を可能とする当ファンドを可視化するために、妄想アーキテクト株式会社にてキービジュアルを作成いただきました。「未上場企業・上場企業の境界を越えて投資する」という特長から“架け橋”をコンセプトに、「ひふみクロスオーバーpro」を通じて投資を受けた未上場企業が成長し、上場を目指していく様子が表現されています。

21 場面・108 人のキャラクターを通じ、「投資家が上場前から未上場企業を応援し、上場の瞬間（鐘を鳴らす瞬間）をともに喜び、上場後の成長まで見届けられる」という「ひふみクロスオーバーpro」ならではの価値が描かれています。



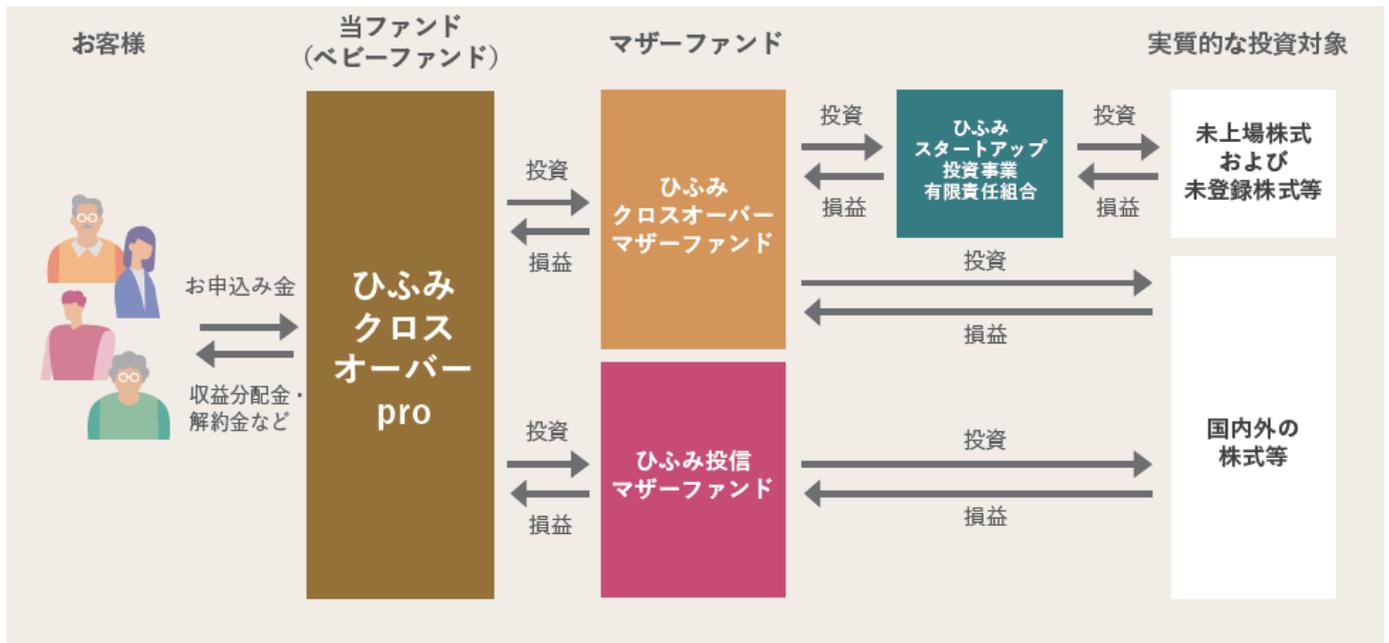
妄想アーキテクト株式会社が「ひふみクロスオーバーpro」を可視化したビジョンイメージボード

■ファンドの特長■

1. 国内外の未上場株式と上場株式を主要な投資対象とします

・「ひふみクロスオーバーマザーファンド」および「ひふみ投信マザーファンド」への投資を通じて、主に成長が期待できる国内外の未上場株式と上場株式に投資します。

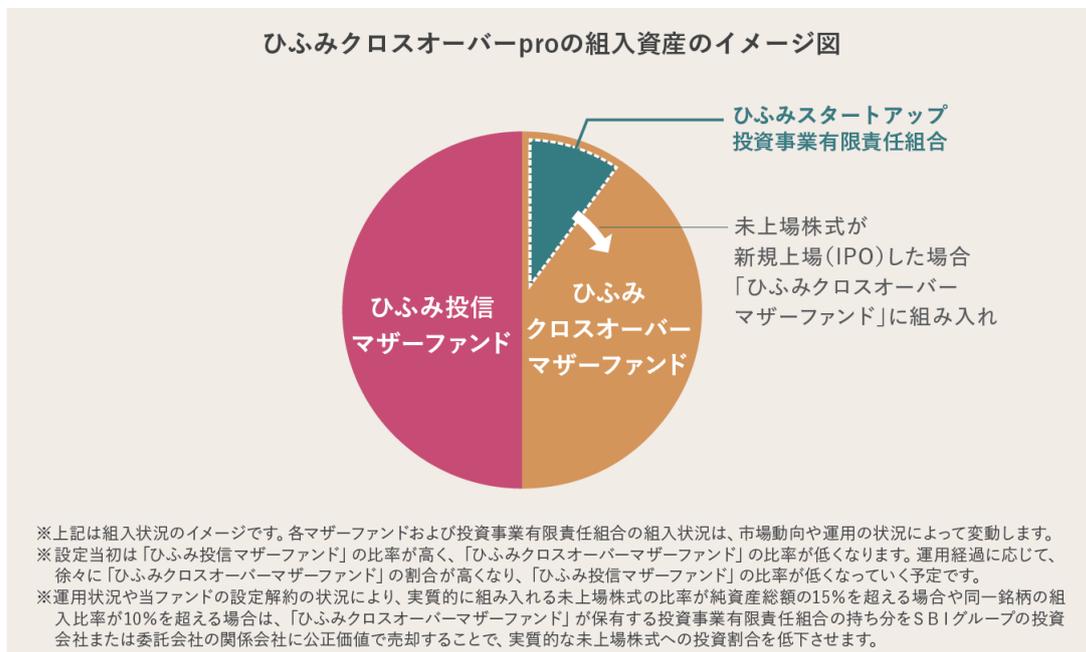
・未上場株式への投資は、レオス・キャピタルパートナーズが運用する「ひふみスタートアップ投資事業有限責任組合」を通じて行ないます。



2. 未上場株式に投資を行ない上場後も投資し続けるクロスオーバー投資を行ないます

・長期的な将来価値に対してその時点での市場価値が割安と考えられる上場株式への投資に加え、新規上場後も継続的な成長が期待される未上場株式に投資を行ないます。

・クロスオーバー投資を通じて、さまざまな成長ステージの企業を応援します。



3. 顔が見える運用

上場・未上場株の運用、複数社の起業・経営に携わり、地方における起業も知り尽くしている藤野英人が運用責任者を務めます。また、2022年に新卒で当社に入社、株式戦略部でアナリストとして企業調査を行なってきた松本凌佳が調査・運用のサポートを担います。松本は年間約300社の中小型IPO企業、内需企業を中心に取材を行ない、投資先と真摯に向き合い、長期的な成長可能性のある企業を発掘してまいりました。

ひふみクロスオーバーpro

ファンドマネージャー

藤野 英人（ふじの ひでと）

藤野英人よりメッセージ

ひふみクロスオーバーproは大きな社会的意義があります。これから成長するであろう実力のある会社の株を未上場の時点から保有し、上場後も長く保有し続けることで、皆様と一緒により良い未来を共に作ることに貢献ができるからです。これまでの30年余り、運用人生を歩んできた私の集大成として、お客様、未上場企業、上場企業の架け橋になるよう、全力で運用いたします。



ひふみクロスオーバーpro

運用メンバー

松本 凌佳（まつもと りょうが）

プロフィール

2022年大学卒業後、新卒で当社へ入社。

2022年6月より株式戦略部にて中小型のIPO企業、
内需企業を中心に調査を行なう。



■ファンドの概要■

当ファンドは、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として、「ひふみ投信マザーファンド」および「ひふみクロスオーバーマザーファンド」（以下、総称して、またはそれぞれを指して「マザーファンド」ということがあります）の受益証券を通じて、国内外の上場株式および未上場株式に投資を行ないます。

名称	ひふみクロスオーバーpro
投資形態	ファミリーファンド
投資対象	国内外
運用会社	レオス・キャピタルワークス株式会社
届出日	2024年8月9日
募集期間	2024年8月26日から2024年9月11日まで
継続募集期間	2024年9月12日以降
設定日（運用開始日）	9月12日

購入時手数料	上限 3.30% (税抜 3.00%) ※各取扱い販売会社にてご確認ください。	
信託報酬	年率 1.650% (税抜年率 1.500%)	
	委託会社	年率0.825% (税抜年率0.750%)
	販売会社	年率0.770% (税抜年率0.700%)
	受託会社	年率0.055% (税抜年率0.050%)
信託財産留保額	なし	

<ご注意>

ニュースリリースの内容は開示時点における情報を基に作成しており、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。投資信託は預金等や保険契約とは異なり金利や相場等の変動により、元本欠損が生じる可能性があります。投資信託毎にリスクや費用等は異なるため、ご購入の際は、事前に投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等の内容を十分にお読みください。

当社が運用する公募投資信託のリスク / 費用

価格変動リスク

国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられたり、または取引が不可能となる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。

信用リスク

有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。また、実質的に投資した債券の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、債券価格が下落する可能性があり、損失を被るリスクがあります。

為替変動リスク

外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。また、一部の資産において、為替ヘッジを行なう場合に円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低いとき、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。

カントリーリスク（エマージング市場に関わるリスク）

当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。また、新興国の公社債は先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになる可能性があります。

未上場株式等への投資に関する主なリスク

投資事業有限責任組合を通じて実質的に未上場株式等に投資を行なうファンドでは、他の金融商品を組み入れた投資信託と比較して、加えて、主に以下のリスクがあります。これらのリスクにより、基準価額が大きく下落し、損失を被るリスクがあります。

- ・ 当該ファンドが実質的に投資する未上場株式等は、各銘柄の価格が各企業の個別要因やイベント（デフォルト、上場、M & A等）によって大きく変動し、上場企業の株式とは値動きの方向性や変動率が大きく異なる場合があるため、評価額が大きく変動し、その影響を受け損失を被るリスクがあります。

- ・ 当該ファンドが実質的に投資する未上場株式等は流動性が著しく乏しいため、売却時に不利な価格での取引をせざるを得なくなるなど、流動性リスクおよび各種リスクの影響が大きくなる可能性があります。

- ・ 未上場株式等の評価額については、その時点で入手できる情報に基づいた公正価値の見積りであり、日々の投資信託の基準価額算出においては、影響を受ける可能性のある重要な事象を完全かつ正確に反映することが困難となりま

す。したがって、お客様（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

お客様の負担となる費用について

◆お客様に直接ご負担いただく費用

- ・購入時手数料 上限 3.30%（税抜 3.00%）※当社が直接販売している投資信託は購入時手数料はありませんが、「スポット購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。 ※販売会社を通じて購入できる投資信託につきましては、購入時手数料は各販売会社ごとに定める料率となりますので、各販売会社までお問い合わせください。
- ・換金（解約）時手数料・信託財産留保額 ありません。

◆お客様に間接的にご負担いただく費用

- ・信託報酬 信託財産の純資産総額に対して 上限 年率 1.650%（税抜 1.500%）
- ・その他の費用と手数料 組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用（監査費用）およびそれにかかる消費税等、受託会社の立て替えた立替金の利息など。監査費用は日々計算されて、毎計算期末または信託終了のとき、その他の費用等はその都度ファンドから支払われます。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。

◆ご注意

- ・上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、レオス・キャピタルワークスが運用するすべての公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等をご覧ください。投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは各販売会社まで。当社が直接販売する投資信託の詳細情報の照会先：コミュニケーション・センター 03-6266-0123（受付時間 営業日の 9 時～17 時） <https://hifumi.rheos.jp/>

■レオス・キャピタルワークス株式会社について■

レオス・キャピタルワークスは「資本市場を通じて社会に貢献します」という経営理念のもとに 2003 年に創業した資産運用会社です。運用・販売する投資信託「ひふみ」シリーズは、守りながらふやす運用でお客様の長期にわたる資産形成を応援します。また投資顧問業においては、国内外の企業年金基金、機関投資家のお客様の資産を受託、運用しております。 <https://www.rheos.jp/>

投資信託にかかる費用・リスク <https://www.rheos.jp/policy/risk/>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 1151 号 一般社団法人投資信託協会会員 一般社団法人日本投資顧問業協会会員

■報道関係よりのお問い合わせ先■

レオス・キャピタルワークス株式会社 広報 IR 部 数原（すはら）、池田

Tel: 03-6266-0124 mail: pr@rheos.jp 〒100-6277 東京都千代田区丸の内 1-11-1 PCP 丸の内 27F

企業サイト：<https://www.rheos.jp> 商品サイト：<https://hifumi.rheos.jp>